



薬用作物の 産地化までの道のり

令和4年度 薬用作物の産地化に向けた地域説明会および相談会

薬用作物産地支援協議会

日本漢方生薬製剤協会 生薬委員会 生薬国内生産検討班

漢方薬とは？

需要は？

漢方医学の流れ



- 「漢方医学」は、中国起源の医学を基に、日本で独自の発展を遂げた伝統医学。
- 中医学、韓医学は、起源は同じだが、異なった医学体系を形成している。
- 江戸中期に伝来したオランダ医学を「蘭方」と呼んだのに対して、従来の日本の伝統医学を「漢方」と呼ぶようになった。

漢方薬の原料となる生薬

植物の花、葉、茎、根



- 人參 (朝鮮人參)
- 蘇葉 (シソ)
- 乾姜 (ショウガ) など

樹木の樹皮、果皮



- 山椒 (サンショウの実)
- 陳皮 (ミカンの皮)
- 桂皮 (シナモン) など

動物由来資源



- 蟬退 (セミの抜け殻)
- 牡蛎 (貝殻)
- 竜骨 (ほ乳類の骨化石) など

鉱物由来資源



- 石膏 (天然石膏) など

漢方・生薬製剤の一例

医療用医薬品

OTC医薬品

医療用漢方製剤
(主にエキス剤)



民間薬
薬局製剤用生薬
医療用生薬

(煎じ薬)



一般用漢方製剤
(エキス・丸剤など)



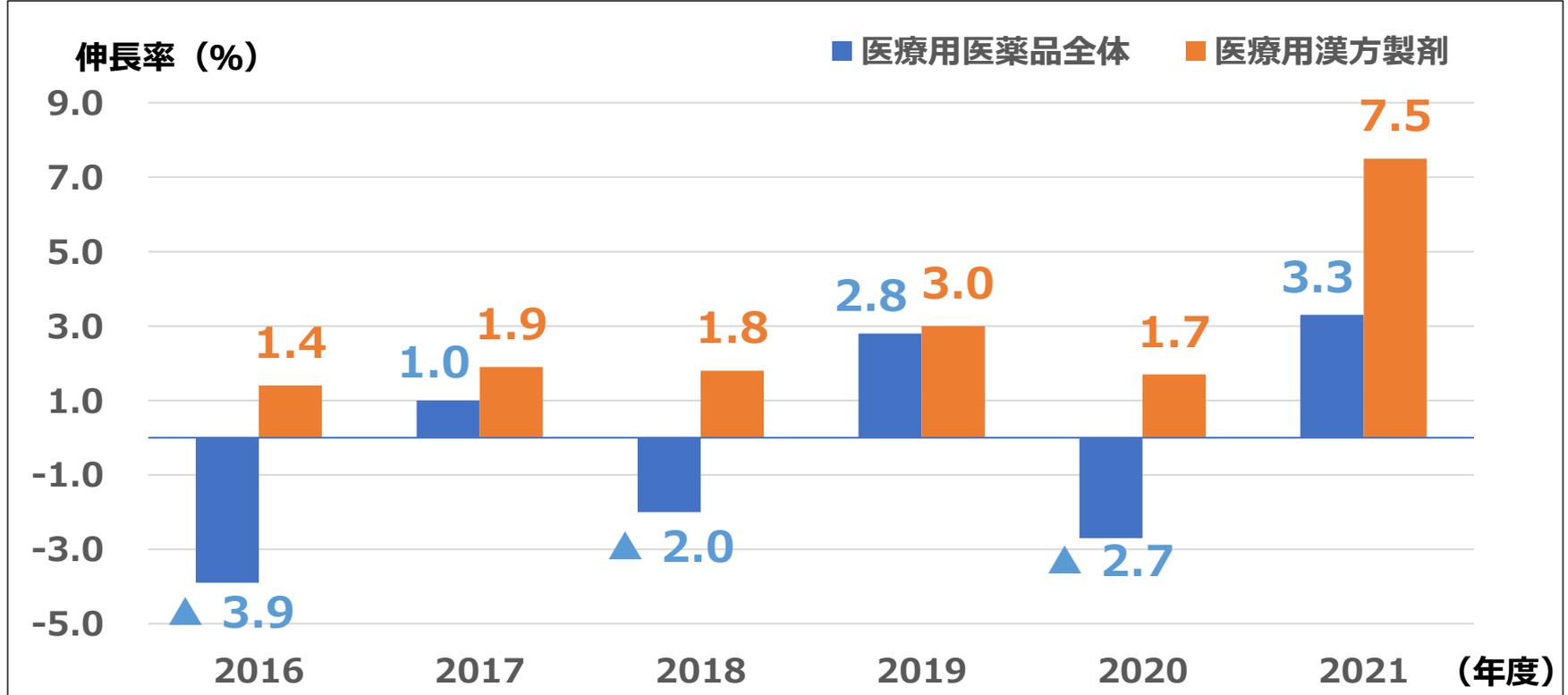
家伝薬



生薬配合製剤



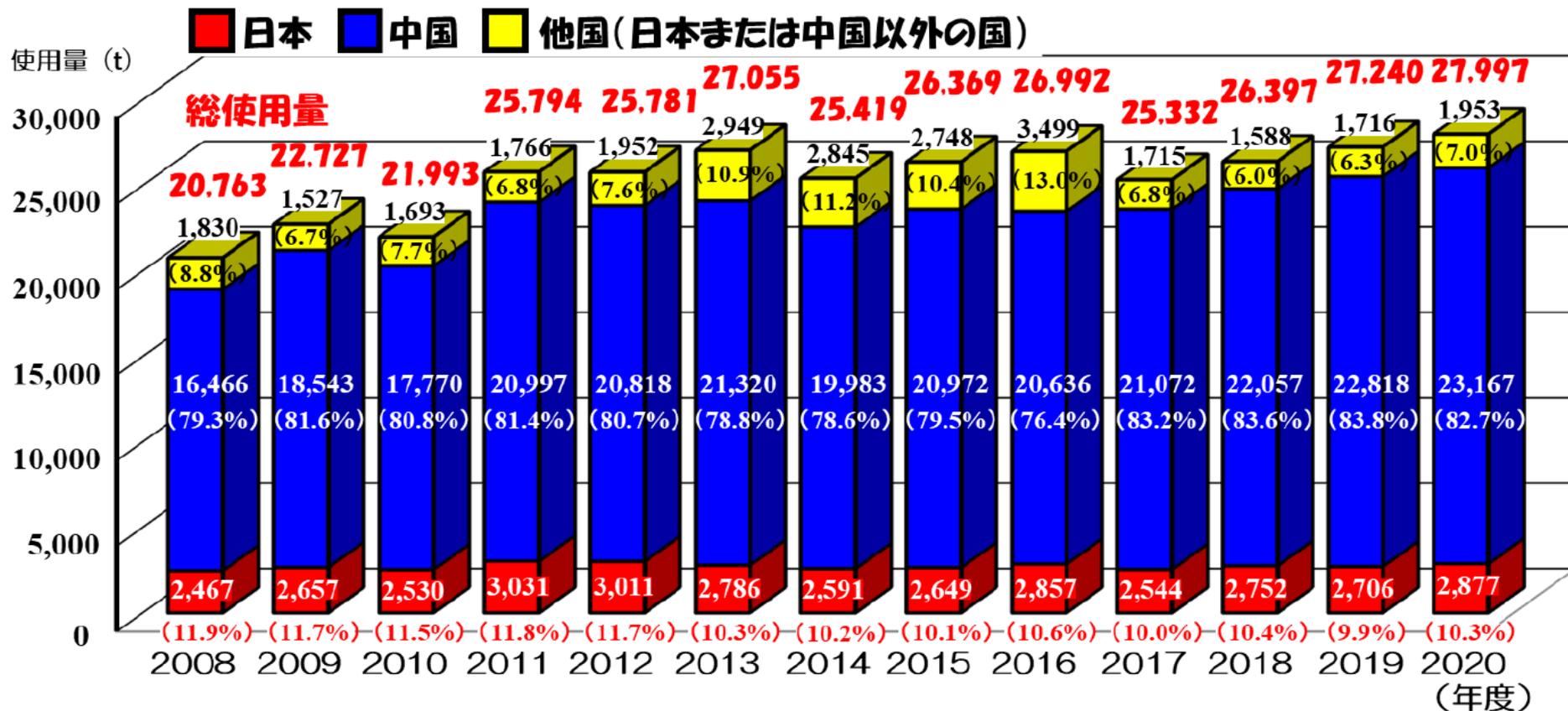
国内医療用医薬品市場と漢方市場の推移（売上ベース）



	2016	2017	2018	2019	2020	2021
市場規模 (億円)	104,308	105,393	103,293	106,294	103,476	106,887
	1,481	1,509	1,536	1,583	1,610	1,730
漢方シェア(%)	1.4	1.4	1.5	1.5	1.6	1.6

Copyright © 2022 IQVIA. 「JPM 2015年4月～2022年3月」をもとに独自に集計 無断転載禁止 6

原料生薬の使用量と生産国（2008-2020年度）



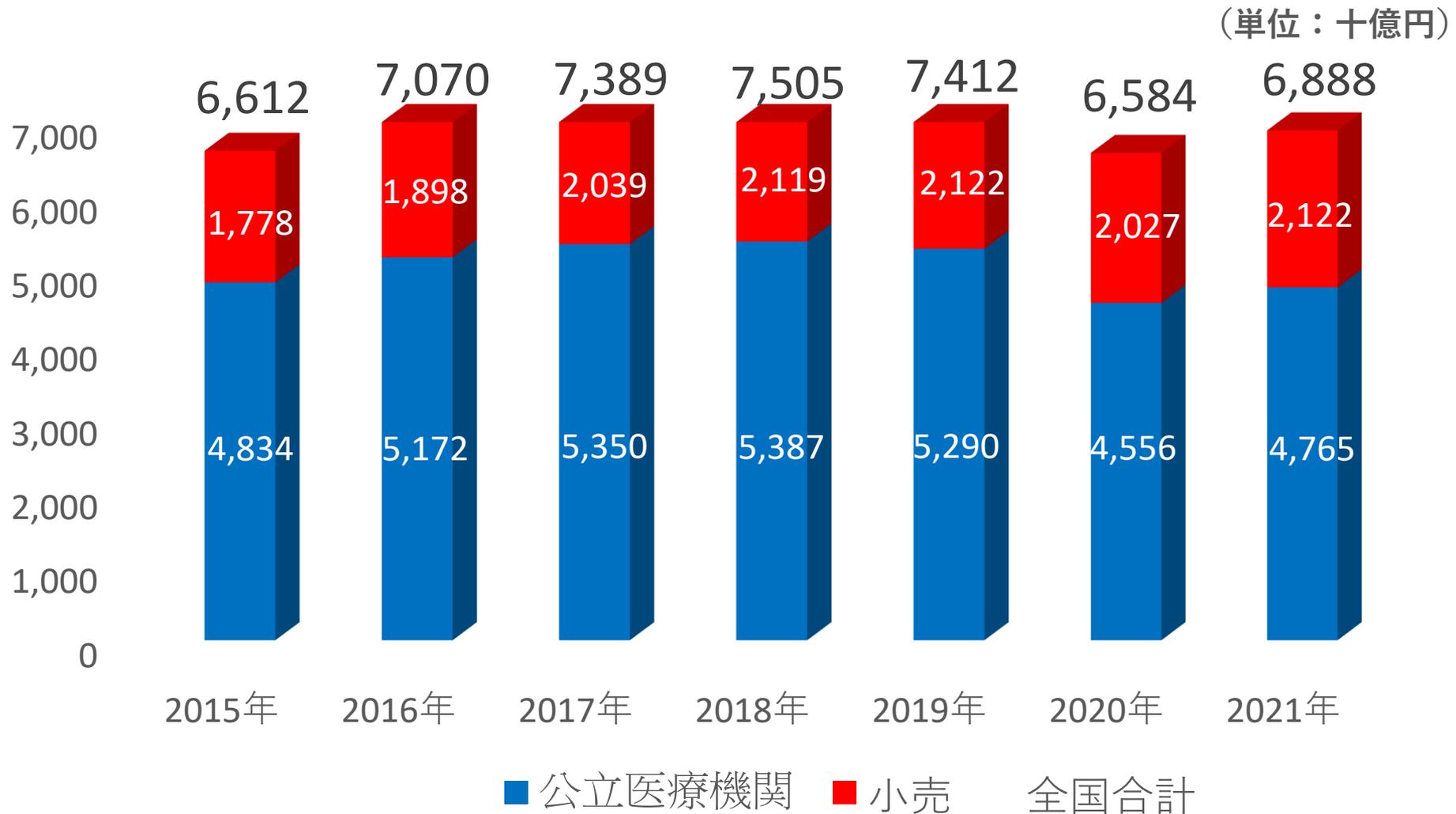
生薬学雑誌77(1),2023 (in press) / 日漢協・生薬委員会 調査

2018年度 国内使用量上位20品目

(kg)

		総使用量	日本	中国	他国
1	カンゾウ	1,758,931	0	1,708,600	50,331
2	シャクヤク	1,623,256	25,055	1,598,201	0
3	ブクリョウ	1,586,653	0	1,586,174	479
4	ケイヒ	1,176,074	0	1,053,203	122,871
5	ソウジュツ	1,005,560	0	1,005,560	0
6	コウイ	974,601	974,601	0	0
7	ハンゲ	928,539	0	928,539	0
8	タイソウ	883,102	0	883,102	0
9	トウキ	864,454	176,113	688,341	0
10	センナヅツ	802,488	0	0	802,488
11	ニンジン	746,550	1,407	744,971	173
12	マオウ	672,336	0	672,336	0
13	サイコ	608,377	18,870	588,485	1,022
14	センキュウ	580,611	442,089	138,522	0
15	カッコン	548,804	0	546,024	2,780
16	ヨクイニン	538,918	17	404,501	134,399
17	タクシャ	534,468	0	534,468	0
18	ビャクジュツ	427,841	0	427,841	0
19	ショウキョウ	426,289	27	426,262	0
20	ジオウ	419,863	2,724	416,949	190

中成藥売上推移 (2015-2021年)



参考：1人民元 = 19円

出典：広州標点医薬信息股份有限公司

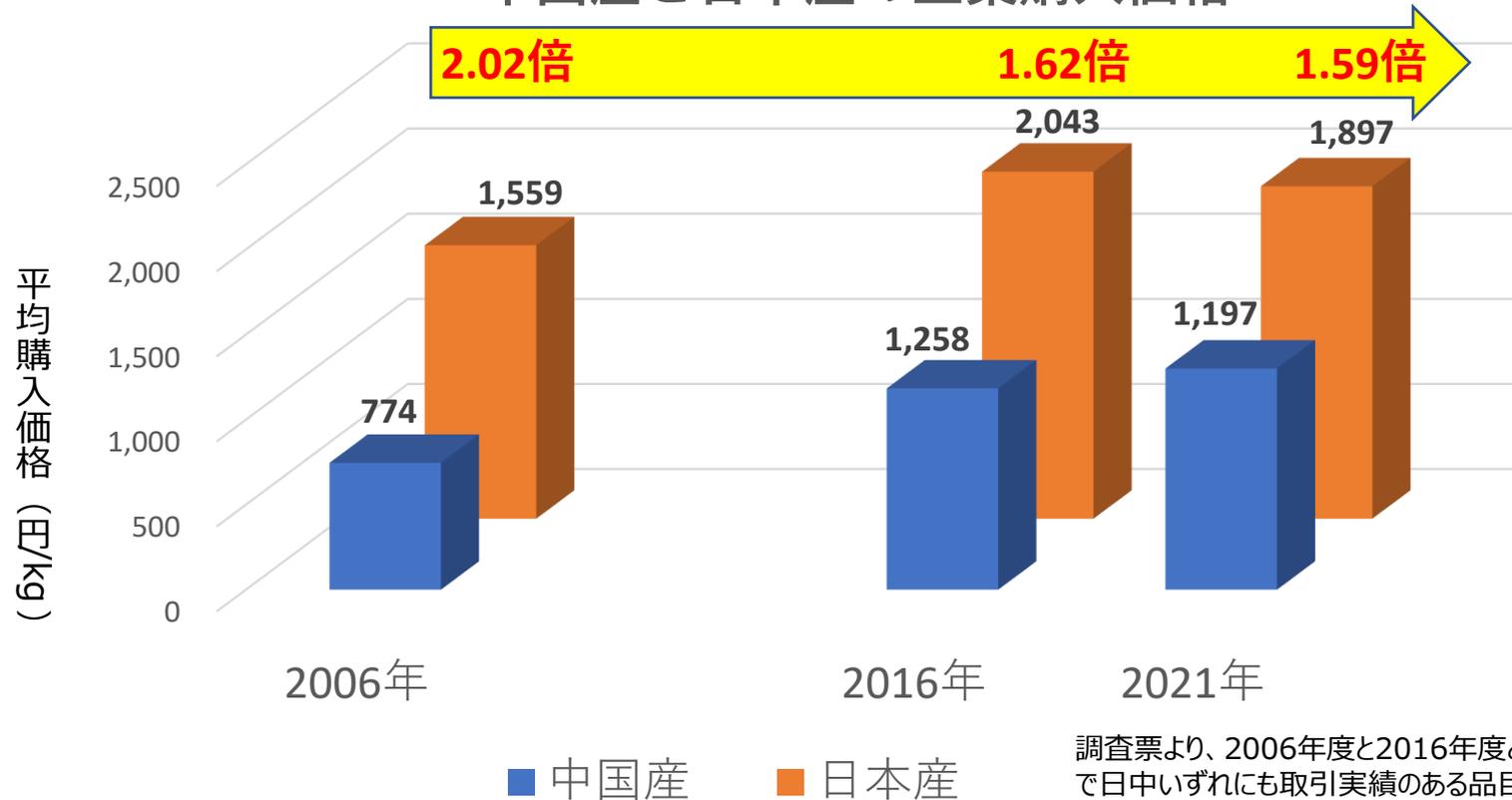
9

薬用作物産地支援協議会

買取価格に関する取り組み

依然として価格優位性は中国産にあるものの、
上昇速度の違いから、価格差は縮小傾向にある

中国産と日本産の生薬購入価格



調査票より、2006年度と2016年度と2021年度のすべてで日中いずれにも取引実績のある品目のうち、10 t 以上の使用量のある品目を抜粋し集計、単純平均値

生薬の品質を安定化するために・・・ 品質規格について



厚生労働省 「日本薬局方」

生薬の基原種 性状（外部および内部形態・色・味・臭い） 確認試験 純度試験 乾燥減量 灰分
酸不溶性灰分 エキス含量 成分など規定

※5年に1度改正

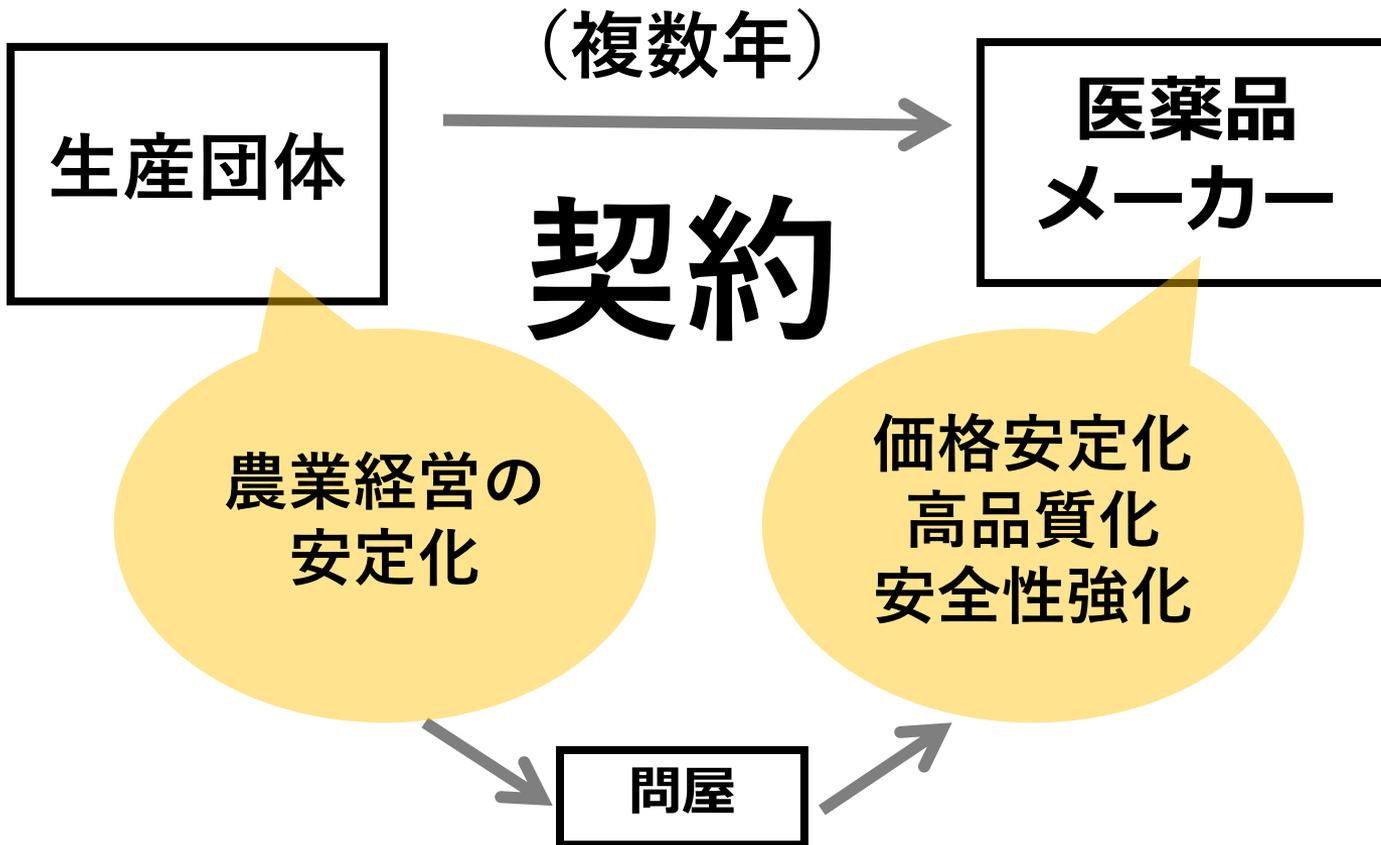
+

「各社自社基準・規格」

日本薬局方で規定していないその他の品質管理項目を含む、各社独自の品質規格
★基原種の限定 ★管理指標成分 ★残留農薬 ★微生物 ★重金属 など

日本における生薬流通について

- ・日本国内には市場がない
- ・生産者と医薬品メーカーとの間で複数年の契約を結ぶ場合が多い



国内での薬用作物生産拡大の意義

医薬品メーカー：

需要量の増加に対する原料調達リスクの軽減および国内自給率の向上
これまでの生産者様と取引関係を維持継続

農林水産省：

国内の耕作放棄地、中山間地の活用による日本の農業活動の活性化

厚生労働省：

薬用作物・生薬調達先の複線化の推進による医薬品の安定供給

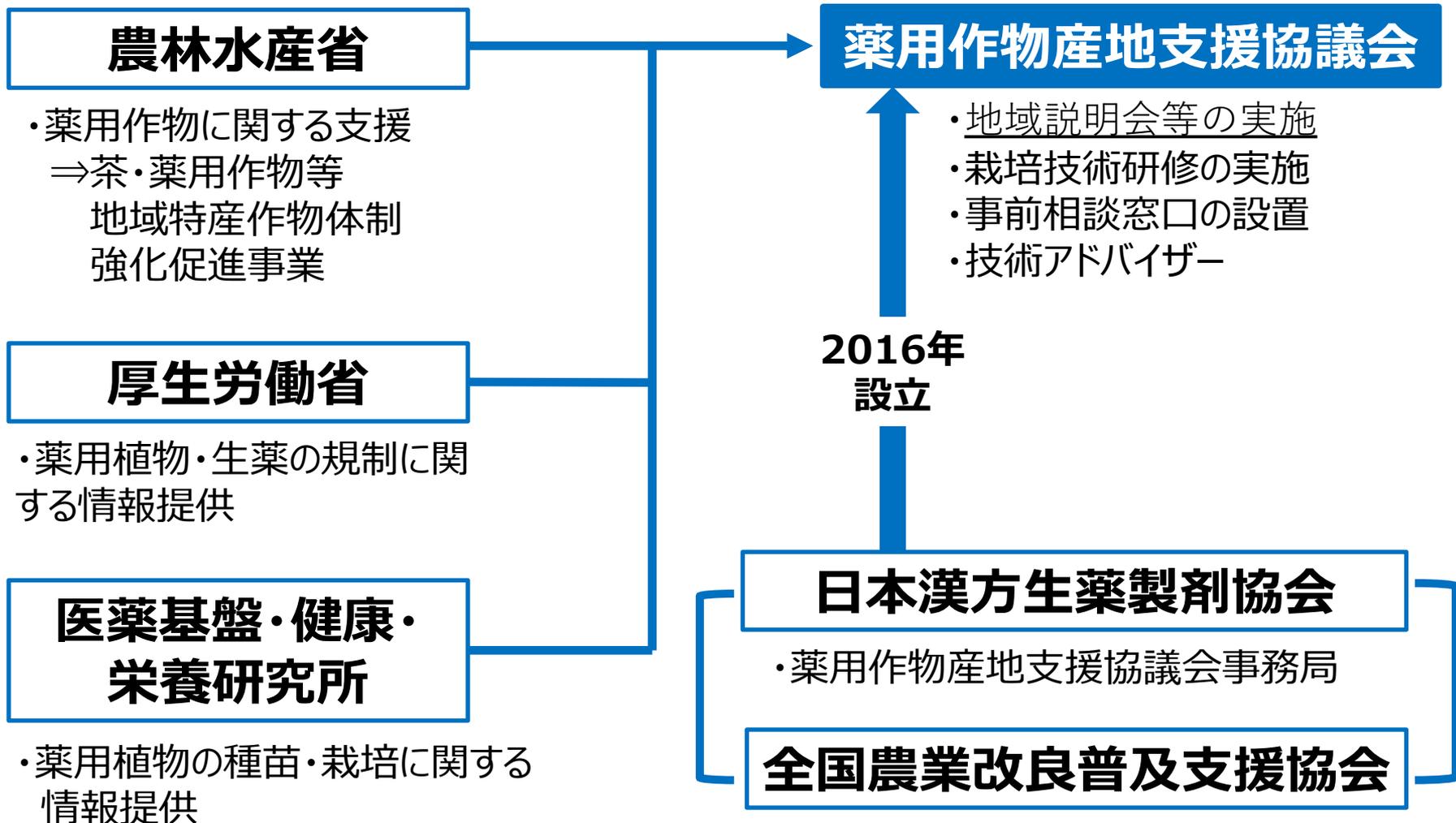


国内での薬用作物生産拡大継続は

必要不可欠

13

茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進事業のスキーム



マッチング概況・国内の薬用作物調達量

9年間のマッチング概況

2022年3月31日時点 日漢協調ベ(2022)

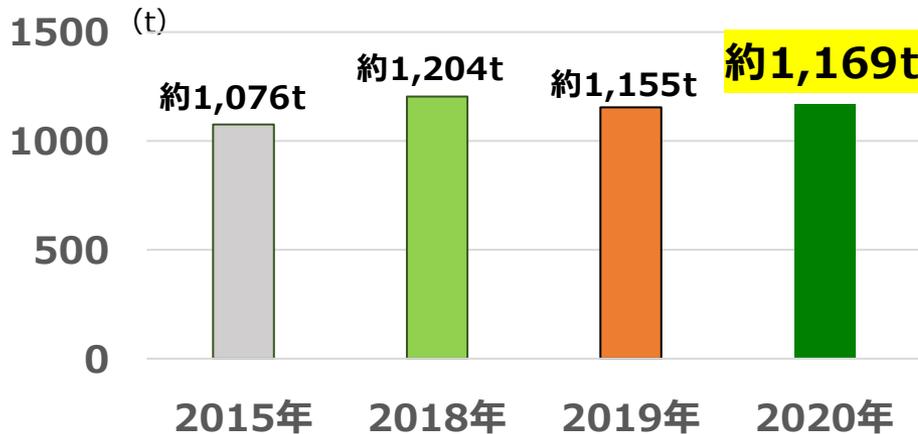
年度→	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	合計
折衝開始	45	36	15	12	8	1	2	5	0	124
折衝成立	19	11	5	1	4	1	2	0	0	43
取引成立	2	2	0	1	2	0	2	1	0	10
成立年	2015~ 2018~	2019~ 2019~	-	2017~	2018~ 2018~	-	2019~ 2019~	2021~	-	

↑ 「売ります」情報
(生産者発信)

「買います」情報
(実需者発信) →

年度→	2020	2021	合計
折衝開始	2	11	13
折衝成立	1	5	6
取引成立	0	0	0
成立年	-	-	

国内の薬用作物調達量



日漢協調ベ(2022)

- ※折衝開始 交渉開始した件数。
- ※折衝成立 交渉が成立し、試作を開始した件数。
- ※取引成立 医薬品メーカーと契約を締結した件数。
- ※取引成立年 医薬品メーカーと契約を締結した年ごとの件数。

折衝および取引の成立・不成立要因まとめ

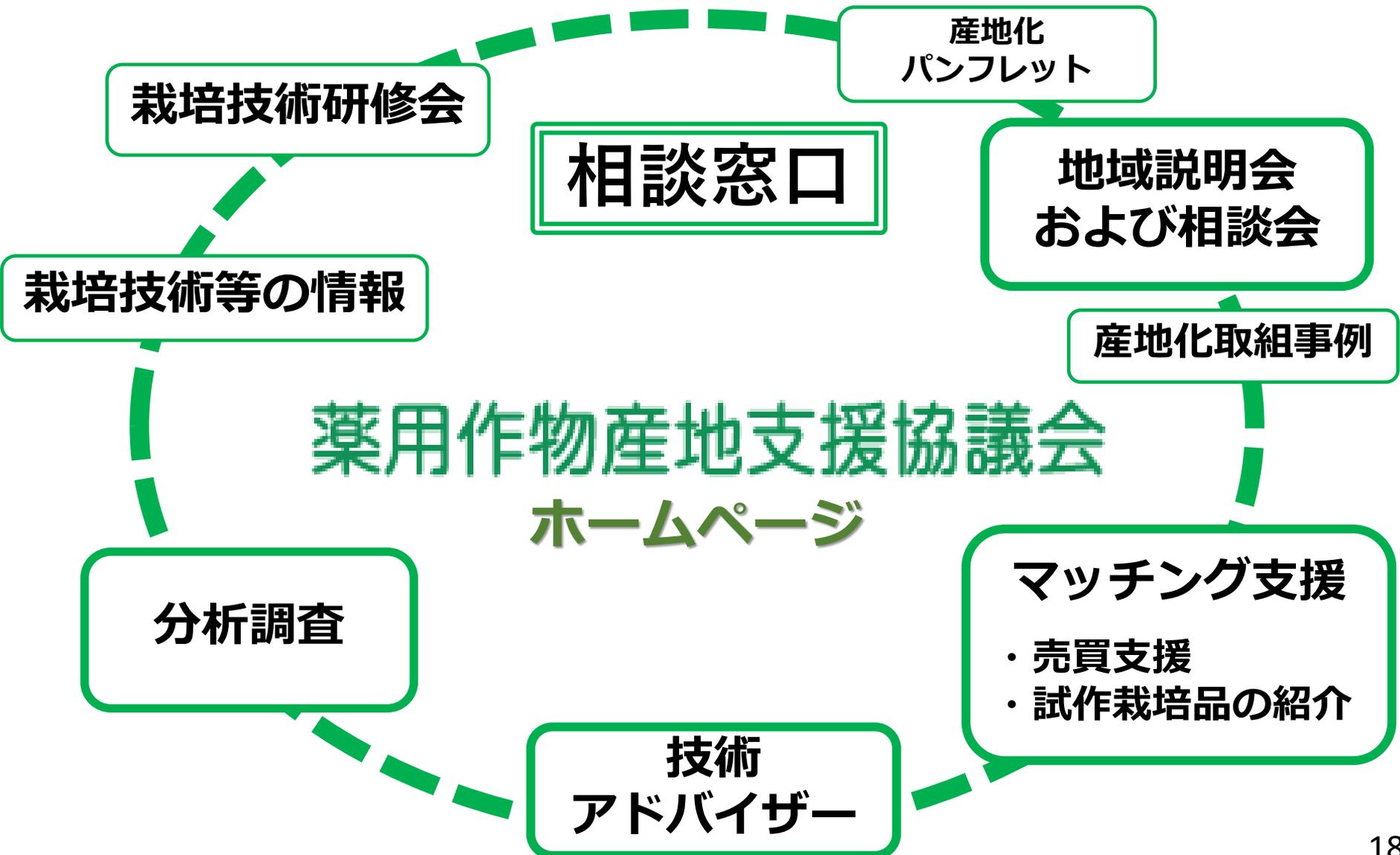
要因	不成立	成立
価格	不採算（買取価格が安い）	中国産との価格差の少ない品目を選択
	支払い条件（早期の現金収入が必要）	
技術	技術不足 ⇒適切な栽培指導不足から 継続不能	小規模試作から開始 ⇒着実な成果をアピールして生産者を増やす
	栽培適地の選択ミス	各地の過去の栽培事例を重視
規格	生産してみたが、規格不適合となり損失⇒継続不能	小規模試作を実施し、品質を確認した後拡大
規模	個人では大規模対応不可	段階的にグループ化（拡大）を実施

生産拡大にあたり、

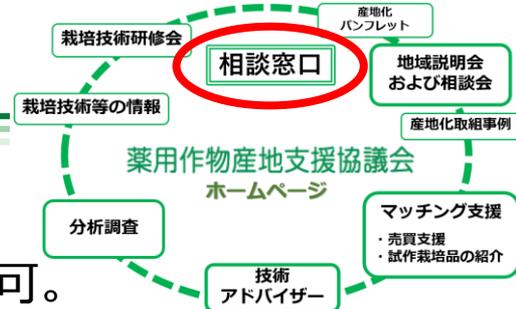
生産者様 / 生産団体様 に 留意いただきたいポイント

1. 個人ではなく、グループで取り組む
2. グループリーダーの熱意は不可欠
3. 主品目ではなく輪作体系に取り込む
4. 地域行政、研究機関との連携を密に
5. 短期間ではなく長期的視点で計画

薬用作物に関する情報を集めたホームページ



相談窓口



産地化を希望する生産者等からの相談・質問に対応する。
お問い合わせフォームのほか、メール、電話、FAXにて対応可。

薬用作物産地支援協議会

お問い合わせ よくあるご質問 アクセス

相談窓口 ☎ 03-6264-8087
お問い合わせフォームをご利用ください

ホーム 組織概要 イベント情報 産地化事例 売買支援 技術アドバイザー 分析調査 調べる

ホーム >> お問い合わせ

生薬（薬用作物）の取り組み等に関するご相談

お問い合わせフォーム

よくあるご質問

薬用作物関係機関 連絡先

E-mail又はFAXでも受け付けています
☎ 03-6284-2534
✉ soudan@yakusankyo-n.org

用紙のダウンロード

Excel形式 PDF形式

現在、当協議会では新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、交代で在宅勤務（リモートワーク）を実施しています。
お問い合わせ等につきましては、可能な限り【お問い合わせフォーム】をご利用くださいますよう、お願いいたします。

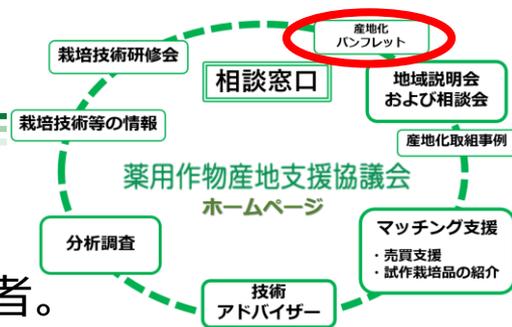
生薬（薬用作物）の取り組み等に関するご相談は、お問い合わせフォームから必要事項を入力し、送信してください。
・TEL (03-6264-8087) ・FAX (03-6284-2534)
こちらからのお問い合わせも受付しております。
FAXの場合は、用紙をダウンロードの上お問い合わせ項目をご記入いただき、送信してください。

- ・お返事を差し上げるまでにお時間がかかる場合があります。
- ・お問い合わせの内容によってはお答えできない場合もありますことをご了承願います。
- ・個人情報は日漢協プライバシーポリシーに従い適切に管理いたします。

現在、多数のお問い合わせを頂戴しております。
ご相談には順次対応しておりますが、ご回答を差し上げるまでに若干のお時間を頂戴しております。何卒ご了承のほど、宜しくお願い申し上げます。

連絡先：薬用作物産地支援協議会 日漢協事務局
担当 飯田
Tel : 03-6264-8087
Email:soudan@yakusankyo-n.org

産地化パンフレット



対象： 新規に薬用作物を取り組むことを検討している生産者。

内容： 薬用作物に取り組む上での、注意すべき点や情報収集の方法について一般的な流れを紹介する。

GUIDE 1 なぜ薬用作物に取り組むといいのか？

薬用作物の栽培を始めるメリットをお伝えします。

「薬方」の原料となる「生薬」のうち、田畑などで栽培されるものを「薬用作物」と呼びます。これらを原料とする薬方・生薬製剤（生薬を含む）の生産金額は、医薬品市場全体の約2.8%ですが、過去5年間で約21.9%増加しており、需要増がつかえます^(※1)。

また、医薬品原料として使用される生薬の割合は、中国産が全体の約77%、国産は約11%です^(※2)。中国産生薬の価格が上昇傾向にあることから、国内での薬用作物生産の需要が高まっています。

安定した収入源になるほか、地域活性化などの効果も

生薬は市場が存在しないため、生産物については、医薬品メーカー（実需者）に全て買い上げてもらう契約を結ぶことが一般的です。品質や安全性、数量などの面で一定の基準を満たす必要がありますが、**複数年の契約を結べば、安定した収入を得ることができる**のは、生産者にとって大きなメリットといえるでしょう。

また、近隣の生産者が互いに協力して薬用作物を栽培することで、農業振興や地域活性化といった効果が得られた事例も少なくありません。このほか、耕作放棄地の解消やソーラーパネル下の活用などの目的で薬用作物の栽培を始めるケースもあり、**取り組み次第で多様なメリットがあります**。

※1 出典：厚生労働省「医薬品市場規模推計(2018)」 ※2 出典：日本特産農産物協会「原料生薬産地実態調査(2018)」

GUIDE 3 新規で薬用作物を始めよう

新規で薬用作物の栽培に取り組む場合、次のような流れになります。

STEP 1 生産者同士で組織化する

収穫までに時間を要し、使える農機や機械も少ない薬用作物の栽培。地域で仲間を集め、組織化を図ると、情報収集や労力の分散などに役立つ。定期的な情報交換会、技術習得の研修会なども、人数が多いほうが開きやすい。

STEP 2 地方行政機関に相談

地域の活性化や農村の振興といった効果につながるためには、市町村の農林振興課などとコンタクトを。助成金や補助金を扱う都道府県や地方農政局への紹介など、経済的な支援につながる可能性もあります。

STEP 3 品目・産地を選定する

栽培できる品目は気候や土壌の特性に大きく影響を受ける。都道府県の行政・研究機関などに問い合わせて、近隣地域の成功事例を調べることが効率的だ。また、実需者である医薬品メーカーの需要も踏まえておきたい。

GUIDE 4 薬用作物のあるある

説明会などでよく聞かれる質問と情報の参照元をまとめました。

Q1 一般作物と薬用作物の違いは？

A 医薬品の原料となる生薬（薬用作物）は、「日本薬局方」や「日本薬局方外生薬規格」の品質規格をクリアする必要があります。これらは、厚生労働省や国立医薬品食品衛生研究所のHPに掲載されています。さらに、医薬品メーカーによっては独自の基準を設けている場合もあります。

Q2 生産する品目の選び方は？

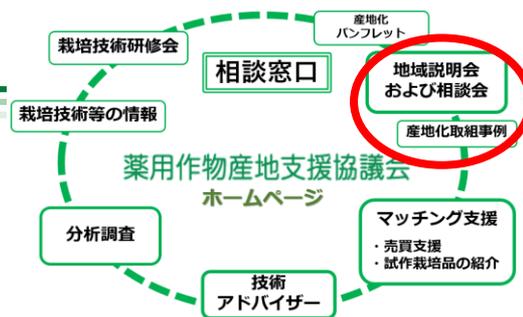
A 日本特産農産物協会の統計資料や、都道府県の行政・研究機関に問い合わせ、近隣で栽培している薬用作物を調べるのが効果的です。例えば、これらの品目の中から、すでに栽培している農作物と薬作物の類似性が少ないものを選び、負担が少なく始められます。

Q3 耕作放棄地で栽培できる？

A もっとも問題になるのは、除草です。薬用作物に使用できる除草剤は少なく、除草剤が使えない作物もあります。特に中山間地での栽培を考えている場合は、中・大型機械を使用することができないので、栽培が困難になってしまうことに留意してください。

地域説明会および相談会

産地化を目指す地域(関係者)と実需者との情報の交換・共有を図るための説明会



令和4年度 薬用作物の産地化に向けた地域説明会および相談会

開催日程および開催場所等 (配布資料は後日公開します)

地域 (開催地)	日時	会場	申込締切	申し込みフォーム
第1回 (東京都) オンライン併用	2022年9月20日(火) 13:00~17:10	AP東京八重洲 11階 ROOM K (東京都中央区京橋1-10-7 KPP八重洲ビル) ・オンライン参加の接続情報は申込受付後にご案内	9月12日(月)	会場参加 オンライン参加
第2回 (福島県) オンライン併用	2022年10月5日(水) 13:00~17:15	郡山商工会議所 6階 中ホールA (福島県郡山市清水台1-3-8) ・オンライン参加の接続情報は申込受付後にご案内	9月21日(水)	会場参加 オンライン参加
第3回 (長野県) オンライン併用	2022年10月19日(水) 13:00~17:15	JA長野県ビル 12階 C会議室 (長野県長野市大字南長野北石堂町1177番地3) ・オンライン参加の接続情報は申込受付後にご案内	10月5日(水)	会場参加 オンライン参加
第4回 (奈良県) オンライン併用	2022年11月10日(木) 13:00~17:15	奈良県コンベンションセンター 2階 会議室206 (奈良県奈良市三条大路1丁目691-1) ・オンライン参加の接続情報は申込受付後にご案内	10月27日(木)	会場参加 オンライン参加

※個別相談は第1回~第4回の「会場参加」の場合のみ申し込み可能です。

- 第1回
- ・薬用作物の産地化までの道のり【日本漢方生薬製剤協会】
 - ・薬用作物を対象とした補助事業等について【農林水産省】
 - ・漢方製剤の現状等について(薬価、医薬品原料、食薬区分等)【厚生労働省】
 - ・薬用植物総合情報データベースおよび種苗分譲について
【国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター】
 - ・日本薬局方(局方)および日本薬局方外生薬規格(局外生規)について
【国立医薬品食品衛生研究所】
 - ・漢方薬の治療実例の紹介
 - ・質疑応答

第2~4回

- ・各地の生産団体の取組紹介
- ・質疑応答

産地化取組事例

実際に産地化に成功している、または成功に向けて取り組んでいる生産団体の様子・経緯を事例紹介としてまとめている。



薬用作物産地支援協議会

お問い合わせ よくあるご質問 アクセス

相談窓口 ☎ 03-6264-8087
お問い合わせフォームをご利用ください

ホーム 組織概要 イベント情報 産地化事例 マッチング支援 技術アドバイザー 分析調査 調べる

ホーム >> 産地化事例

産地化取組事例紹介

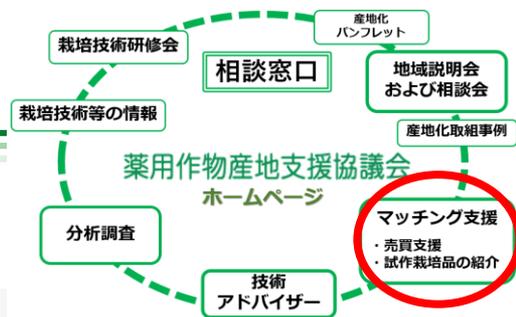
過去の地域説明会におきまして、薬用作物の産地化に取組まれている生産団体の事例を知りたい、との要望が多く寄せられました。平成30年度よりその声にお応えし、地域説明会におきまして各地域での産地化取組事例を紹介しております。その内容を掲載いたします。ぜひご参照ください。

令和3年度 事例紹介

事例先	説明会 開催地	閲覧
農業+福祉 生薬栽培/社会福祉法人はるにれの里 農業生産法人てみるファーム 《北海道》	北海道（札幌市）	事例を見る
むらさき（紫根）の栽培/当別薬用植物栽培研究会 《北海道》	北海道（札幌市）	事例を見る
蔵王薬農園の取組み/蔵王薬農園 《宮城県》	関東（東京都）	事例を見る
生薬の郷を目指して 秋田県八峰町/八峰町農林振興課 《秋田県》	関東（東京都）	事例を見る
あさざり町における薬草栽培の取組/熊本県あさざり町 《熊本県》	九州（福岡県）	事例を見る
生薬生産の取組と将来の展望/株式会社中村園 《福岡県》	九州（福岡県）	事例を見る

マッチング支援

生産団体様と実需者（漢方薬メーカー）とのマッチングの場



マッチング支援

生産団体様と実需者（漢方薬メーカー）との、マッチングの場としてご活用ください。

売買支援はこちら
(売ります情報・買います情報)

試作栽培品の紹介はこちら
(生産者が発信する情報)

売買支援では次のような情報をご利用いただけます

- ・生産団体様が販売を希望する薬用作物の情報
- ・実需者が購入を希望する薬用作物の情報

試作栽培品の紹介では次のような情報をご利用いただけます

- ・生産団体様による試作栽培品（少量の生産物）の情報

※対象となる生産物は原則として、漢方・生薬製剤の原料になる、「日本薬局方」および「局外生薬規格」の収載品目に限ります。
日本薬局方については[厚生労働省ホームページ](#)をご参照ください。
局外生薬規格については[こちら](#)をご参照ください。
また、日本国内で生産された薬用作物に限ります。

令和4年度は以下の2種類を掲載

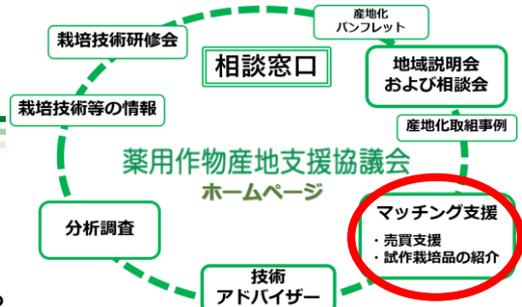
① 売買支援

売ります情報（生産者発信）
買います情報（実需者発信）

② 試作栽培品の紹介

（生産者発信）

マッチング支援：①売買支援



国内において薬用作物には市場が無い。
そこで、医薬品メーカーと生産団体様との売買成立を支援する。

お問い合わせ よくあるご質問 アクセス
相談窓口 ☎ 03-6264-8087
お問い合わせフォームをご利用ください

ホーム 組織概要 イベント情報 産地化事例 **マッチング支援** 技術アドバイザー 分析調査 調べる

ホーム >> マッチング支援 >> 売買支援

売買支援

薬用作物は“市場”が存在せず、生産者と漢方薬メーカー（実需者）との間で「全量契約」する人が多いのが現状です。
そのため本サイトでは実需者と生産団体様の売買支援を行うことを目的とします。

売買支援の流れ

① 情報を探す → ② フォームから連絡 (事務局が仲介) → ③ 対面で交渉 → ④ マッチング成立

令和4（2022）年度【売ります情報】登録受付を開始いたしました

【売ります情報】（生産物）登録申込フォームはこちら

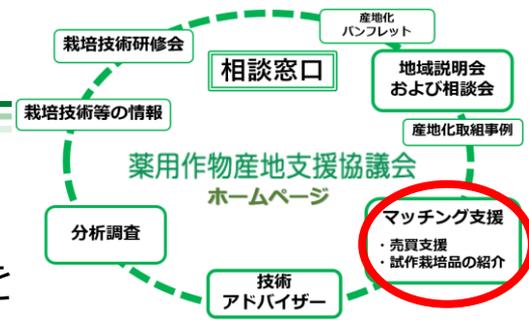
E-mail又はFAXでも受け付けています
☎ 03-6284-2534
✉ soudan@yakusankyo-n.org
📄 Excel形式 📄 PDF形式

【売ります情報】
生産者が発信する情報はこちら
・販売を希望する薬用作物
「売ります情報」登録ご希望の生産者様もこちらから

【買います情報】
実需者が発信する情報はこちら
・購入を希望する薬用作物
・新規生産地創出を希望する品目と条件

売買支援（買います情報）

医薬品メーカー側の取引希望条件を掲載する。（生薬品目毎）
合致する場合には、生産概況をフォームに記入し、お申込みを



お問い合わせ よくあるご質問 アクセス
相談窓口 ☎ 03-6264-8087
お問い合わせフォームをご利用ください

ホーム | 組織概要 | イベント情報 | 産地化事例 | マッチング支援 | 技術アドバイザー | 分析調査 | 調べる

ホーム >> マッチング支援 >> 売買支援 >> 買います情報

戻る

買います情報

(実需者が発信する情報)

情報を探す → フォームから連絡 (事務局が仲介) → 対面で交渉 → マッチング成立

買います情報 (1) 【生産物の購入希望】はこちら

買います情報 (2) 【新規生産地づくり】はこちら

「買います情報」には、〈実需者が購入を希望する薬用作物等の情報〉を掲示しています。
(1) (2) の区分は以下のとおりです。
買います情報 (1) : 薬用作物 (生産物) の購入希望
買います情報 (2) : これから新たに生産に取り組んでいただき、将来的に新規の生産地づくりを希望

買います情報 (1) 【生産物の購入希望】

登録番号	品目	詳細
2210450001	アカメガシワ	詳細を見る
2210450002	オウバク	詳細を見る
2210500002	カノソウ	詳細を見る
2210500001	サンショウ	詳細を見る
2210700001	シコン (薬根)	詳細を見る
2210500003	セネガ	詳細を見る

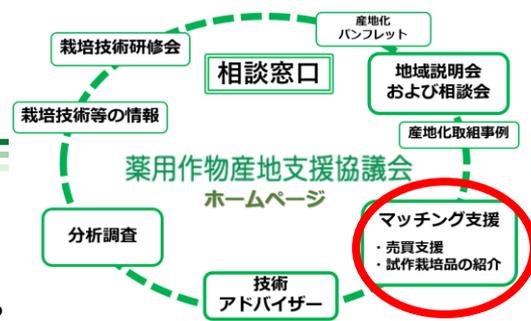
買います情報 (2) 【新規生産地づくり】

登録番号	品目	詳細
2220450001	オウバク	詳細を見る
2220500001	カノソウ	詳細を見る
2220500002	乾燥山椒	詳細を見る

令和4年度は

- (1) 生産物の購入希望
 - (2) 新規生産地づくり
- の2種類で情報掲載中

売買支援（売ります情報）



生産団体様が販売を希望する生薬の情報を掲載。
 医薬品メーカー側は閲覧し、取引希望の場合には連絡を入れる。
※生産団体様は、WEB上でもFAXでも情報登録のお申し込みが可能。

お問い合わせ よくあるご質問 アクセス
 相談窓口 ☎ 03-6264-8087
 お問い合わせフォームをご利用ください

ホーム 組織概要 イベント情報 産地化事例 マッチング支援 技術アドバイザー 分析調査 調べる

ホーム >> マッチング支援 >> 売買支援 >> 売ります情報 >> 売ります情報【生産物】一覧

戻る

売ります情報【生産物】一覧

(実需者向け情報)

ご利用の流れ（実需者向け）

- 購入を希望する掲載情報から「取引を希望する」をクリックしてください。
- 入力フォームに必要事項を入力の上送信してください。
- 事務局では毎月2回（15日と末日）を締め日とし、応募を取りまとめます。
 ○事務局から応募した実需者へ、当該案件の【生産者様の連絡先】をお知らせします。
 ○事務局から生産者様へは、応募した【実需者の会社名】をお知らせし、2週間以内に連絡がある旨をご案内します。
- 実需者と生産者様とで直接交渉をおこなっていただきます。
 ○交渉開始となった実需者には、毎年度末に進捗状況をご報告いたします。
- 交渉がまとまった場合、売買契約の成立となります。

納入可能予定日が2023年3月まで（今年度中に納入可能）

登録番号	品目	納入可能予定日	詳細
22_20220802232312	女貞子（トウネズミモチ）	2023年2月	詳細画面

ホーム 組織概要 イベント情報 産地化事例 売買支援 技術アドバイザー 分析調査 調べる

ホーム >> 売買支援 >> 売ります情報（生産物）登録申込フォーム

戻る

売ります情報（生産物）登録申込フォーム

以下の項目にご記入いただき、送信ボタンをクリックください。

※の項目（1,2,3,4,5,6,7,8,13）については、ホームページへ開示させていただきます。（開場所在地は、都道府県のみ）

団体名・会社名（必須）	<input type="text" value="団体名・会社名"/>
郵便番号（必須）	<input type="text" value="郵便番号(ハイフン有)"/>
ご住所（必須）	<input type="text" value="ご住所"/>
ご担当者 お名前（必須）	<input type="text" value="代表者"/>
ふりがな（必須）	<input type="text" value="ふりがな"/>
所属部署	<input type="text" value="所属部署"/>
電話番号（必須）	<input type="text" value="電話番号(ハイフン有)"/>
FAX番号	<input type="text" value="FAX番号(ハイフン有)"/>
メールアドレス（必須）	<input type="text" value="メールアドレス"/>
1.開場所在地（都道府県 & 市町村）※（必須）	<input type="text" value="生産都道府県および市町"/>
2.品目（標物名）※（必須）	<input type="text" value="品目"/>
3.栽培品・野生品の区分※（必	<input type="text" value="選んでください"/>

マッチング支援：②試作栽培品の紹介



生産団体様が、試作栽培（生産物の乾燥重量50kg未満）の状況について紹介する場

薬用作物産地支援協議会

お問い合わせ

よくあるご質問

アクセス

相談窓口 ☎ 03-6264-8087

お問い合わせフォームをご利用ください

ホーム

組織概要

イベント情報

産地化事例

マッチング支援

技術アドバイザー

分析調査

調べる

ホーム >> マッチング支援 >> 試作栽培品の紹介

試作栽培品の紹介

（生産者が発信する情報）

生産団体様が試作栽培（生産物の乾燥重量50kg未満）の状況について紹介する場を設けました。

将来の産地創出を考えておられる実需者のご参考になれば幸いです。

（乾燥重量50kg未満の場合、売買取引の対象にはならないため、「売ります情報」の対象外となります）

[試作栽培品一覧はこちら](#)

乾燥重量50kg未満の場合は「売ります情報」の対象外となるため、こちらの「試作栽培品の紹介」にお申し込みを

生産団体様は、WEB上でもFAXでも情報登録のお申し込みが可能

ご利用の流れ（生産者向け）

試作栽培など、生産物が少量の場合（乾燥重量50kg未満）、こちらの「試作栽培品の紹介」へお申し込みいただけます。

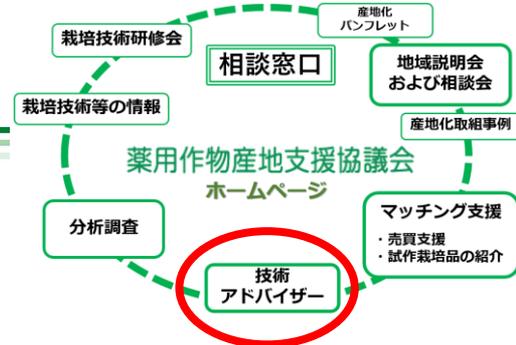
（50kg未満の場合「売ります情報」では原則として受付できません）

このページの下部にある「[試作栽培品の紹介登録申し込みフォーム](#)」にて登録希望をお送りください。

当協議会で審査後、ホームページに掲載いたします。

技術アドバイザー

栽培や加工調製段階におけるお困りごとを解決するために
専門技術指導者を現地圃に派遣し、アドバイスを行う。
基本的に無償。 売り先（取引先）の紹介は不可。



薬用作物産地支援協議会

お問い合わせ よくあるご質問 アクセス
相談窓口 ☎ 03-6264-8087
お問い合わせフォームをご利用ください

ホーム 組織概要 イベント情報 産地化事例 売買支援 技術アドバイザー 分析調査 調べる

ホーム >> 技術アドバイザー

技術アドバイザー

本事業は、現在、医薬品の原料生産となる薬用作物の栽培化に取り組まれている生産団体様に対して、薬用作物の専門技術指導者を派遣して、栽培や加工調製段階におけるお困りごとを解決するためにお手伝い（アドバイス）をさせていただきます。

技術アドバイザー派遣の流れ



技術アドバイザー派遣申込フォーム

E-mail又はFAXでも受け付けています

☎ 03-6284-2534

✉ soudan@yakusankyo-n.org

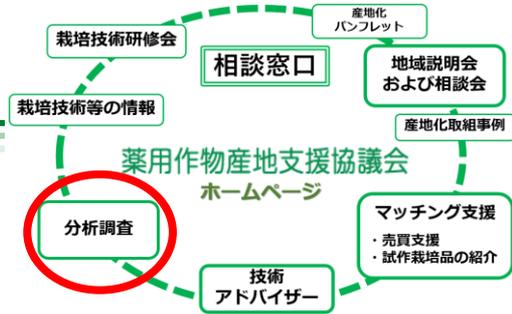
📄 Excel形式 📄 PDF形式

技術アドバイザー紹介

注意事項

- 1 売り先（医薬品メーカー等）の紹介は致しかねますのでご了承ください。
- 2 全ての派遣依頼に対して対応できる訳ではありません。

分析調査



生産者様においては、試作生産物が日本薬局方の要件をクリアしているかを確認することができます。

※ご要望を全てお受けできる訳ではございません

対象品目：漢方・生薬製剤の原料となる、「日本薬局方収載品目」および「局外生薬規格」の範囲
日本国内で生産された薬用作物に限ります

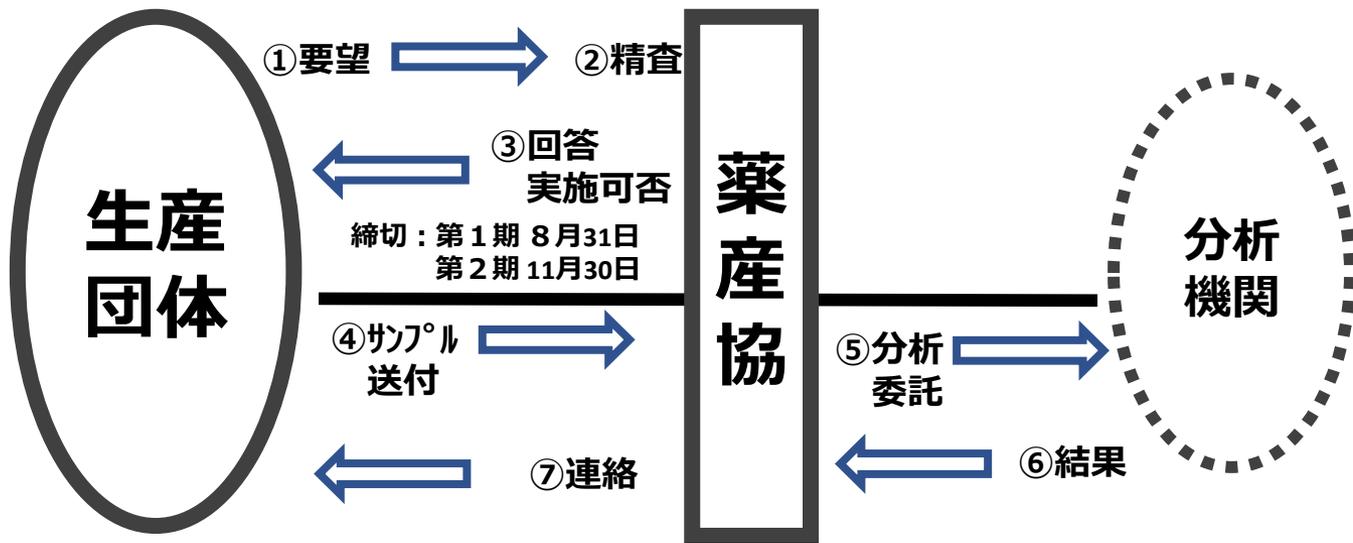
対象者：法人・農協の部会・農業者で組織する団体等 ※個人での応募は対象外

当協議会は、試作品がどのような生産物となるのかを調査し、今後の支援対策に活用いたします。

ホームページで応募受付中

令和4年度 第1期（8月末締切）は2件の応募あり・うち1件を現在分析中

令和4年度 第2期は、11月30日締め切り！！





薬用作物産地支援協議会

お問い合わせ よくあるご質問 アクセス
 相談窓口 ☎ 03-6264-8087
 お問い合わせフォームをご利用ください

ホーム | 組織概要 | イベント情報 | 産地化事例 | 売買支援 | 技術アドバイザー | 分析調査 | 調べる

ホーム >> 調べる

調べる

- 生薬について
 - 薬用作物名生薬名対比表
 - 生薬（薬用作物）についての概略
- 生薬の規格（日本薬局方で規定される内容）
 - 厚生労働省「日本薬局方」ホームページ（外部リンク）
 - 国立医薬品食品衛生研究所「日本薬局方と関連情報」（外部リンク）
 - 厚生労働省「日本薬局方外生薬規格2018」（外部リンク）
- 日漢協が使用する生薬の取引状況
 - 日本漢方生薬製剤協会会員会社が使用している植物性生薬一覧表(使用量順)
 - 日中生薬価格調査結果(日本実績あり)
 - 日中生薬価格調査結果(日本実績なし)
- 農林水産省関連
 - 農林水産省補助事業で作成された各地域での栽培マニュアル
 - 農林水産省補助事業による農業機械等の改良事例(26年～29年)
 - 薬用作物の産地化事例集（平成31年2月）（外部リンク）
 - 農林水産省主催 薬用作物（生薬）の産地化に向けたシンポジウム 資料（外部リンク）

情報提供

- ・活用できる国の支援策、収入保険制度等
- ・日本薬局方、食薬区分、薬価等
- ・薬用植物資源の確保、栽培技術の確立研究等

薬用作物産地支援



ご清聴ありがとうございました